



関中央ロータリークラブ

2017-2018 WEEKLY REPORT

例会日 毎週木曜日 18時30分

例会場 関観光ホテル（関市池尻91-2）

事務局 関市西本郷通5-2-53 TEL(0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

会長 波多野 好文 **副会長** 佐藤 忍 **幹事** 長谷川 修 **クラブ会報委員長** 大藪 太

2017~2018年度国際ロータリー

イアン H.S. ライズリー会長



2017~2018年度関中央ロータリークラブ会長テーマ

「親睦からのロータリー」

本日のプログラム 第1929回例会 2018年2月8日（木）

卓話 関市役所 市長公室長 山下 清司 様

テーマ 「さんやほう 20周年」 / 担当 ロータリー情報委員会

前例会の記録

第1928回 2018年2月1日（木）

会員卓話 石原妙生会員

テーマ 「我クラブの国際奉仕」

/担当 国際奉仕委員会

*国歌「君が代」斉唱

*ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

*会長あいさつ 波多野好文会長

皆さんこんばんは。先週の職場例会には雪にもかかわらず、たくさんの方が参加され、ご苦労様でした。岐阜県博物館には20年ぶりぐらいに行きましたが、だいぶ変わっていました。増築され、身近な展示物も多く大変勉強になりました。又仕事柄トイレも見てきましたが改装されて、新しくなっていました。もう少し時間があつたらよかったです、見たらない方、又行けなかった方は個人で行って頂くと大変勉強なと思います。私が入会してすぐに、あそこで関中央ロータリークラブのホストでインターアクトの中東濃大会が行われ、右も左もわからな



い中で参加したことが、いい思い出です。

その前の1月20日には、岐阜グランドホテルで、会員増強セミナーが行われましたので、石原増強委員長と長谷川幹事と3名で参加してきました。今回は三重県と岐阜県に分かれて行われ、三重県は先週行われたようです。10時点鐘で始まり、午前中はガバナーの挨拶や、カウンセラー村橋さんの講演等の全体会議で終わったのですが、その中で事前(12月)にクラブの会長・幹事・増強委員長（岐阜県すべて121人）にアンケートがとられました。内容としては、①会員増強は必要だと思いますか。(必要97.3%・必要なし1.8%)で皆さん必要だと思っています。②このままのクラブの状態5年後をイメージできますか。(できる68%・できない37%)③クラブの今の状態に満足していますか。(満足している45%・満足していない54.9%)④何人が理想ですかの質問には私は50人と答えましたが、50人と答えた人が26名と一番多かったようです。その他、⑤どのようにして、ロータリーに入会しましたか。⑥ロータリーは楽しいですか。⑦ロータリーは皆様の人生に素晴ら

しい影響を与えてくれましたか等の質問がありました。その後、昼食となり、前回の財団のセミナーの時は結構豪華な幕の内弁当が出たのですが、今回は予算がなくなったせいか、ハヤシライスとサラダのみでした。考えてみると、野菜が高騰しているの、あのサラダは結構高かったのかもしれませんが。その後、午後からグループ別にわかれて、分科会が行われ、一人ひとり意見を述べたのですが、各クラブ共に増強には苦勞して、司会者の方が増強の成功例を述べて下さいと言われましたが、出てくるのは失敗例ばかりでした。しかし関ロータリークラブは5名の増員をしていて、あやかりたいと思いました。ということで、石原委員長と相談して、新会員の推薦書を作りましたので、皆様2名以上の推薦をよろしく願います。

*会員卓話 石原妙生会員

テーマ「我クラブの国際奉仕」

ロータリークラブの国際奉仕と言え、ロータリー財団のポリオ撲滅寄付や米山奨学の学生への援助があります。関中央ロータリークラブも毎年その活動を行っていますが、我クラブ独自の国際奉仕活動と言え、以前は国際青少年交換事業が主な活動であったが、今は台湾の台北南隆ロータリークラブと共同で行っている台湾景文高校と関商工高の交流事業であります。

改めてロータリークラブの国際奉仕とはと考えたとき、ロータリーの綱領によると、「奉仕の理想に結ばれた事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」とあり、概念上次の四つの一般的分野に分類されています。

1) 世界社会奉仕プログラム

(発展途上国等に対する人道的奉仕)

2) 国際レベルの教育及び文化交流活動

3) 特別月間と催し

4) 国際的な会合

我クラブは2の「国際レベルの教育及び文化交流活動」にあたると思われ、

日本の他地区のクラブではいろいろな活動が行われているようですが、よく耳にするのは、東南アジ



アの発展途上の地域への生活・学習等に関する支援や、姉妹クラブの周年記念式典に参加などです。その他では、海外へのスタディツアーや短期交流も行われているようです。

ここで他の地区のクラブはどんな活動をしているのか調べてみました。

第2650地区(福井・滋賀・京都・奈良)の2017年の活動によると、

・彦根ロータリークラブ：ベトナムのハノイにある平和村(0才~18才までの障がい者施設)に老朽化した手洗い・シャワー・トイレ設備等の改修を行った。その時、子供たちに日本からのプレゼントを渡すとあふれんばかりの笑顔で喜びを表現していた。この施設は、40年前のベトナム戦争で米国が使用した枯葉剤の影響による障がい児の世話、育成、治療を行っている施設で、いまだに第2世代・第3世代に影響が出ているとの事。

・びわ湖八幡ロータリークラブ：台湾の姉妹クラブの周年記念式典に参加した。

・丸岡ロータリークラブ：タイ・スタディツアーを計画し、丸岡高校生6人と先生1人をタイの学校や孤児院で学習やら、交流を5日間の日程で行った。クラブのこの事業の目的は「生徒たちにもっと視野を広げて頂き、お金や物の価値観など、いろいろな価値観の違いに気づいてほしい」と掲げ、今日本は先進国と言われる中、人間の人生に対する価値観をもう一度考え直す時期に来ているからということ。具体的には、「地理の学習、折り紙の学習、英語のしりとり、ダンス」の4つのプログラムを基本に、それぞれ学校3ヶ所、孤児院4ヶ所で行った。体験した生徒の感想を一部紹介します。

A君：生活や食事が違う「異国」を実感できた。

「言葉の壁は越えられないわけではない」言葉が通じないのでコミュニケーションを取ることが難しいと思っていたが、少しの英語と身振り・手振りでやり取りが出来た事に感激して、改めて話す英語の必要性を実感した。

B君：孤児院の訪問やスラム街の見学で、物質的な豊かさだけでなく心の豊かさも大切だと感じ、直接見ることにより発展途上国の現状を知るとと

もに、生活の低さも知り、支援の必要性を強く感じた。

C子さん：ツアー参加の理由の一つに「夢を見つけるきっかけにしたい」を掲げ体験の結果、孤児院での事が一番影響を受けたそうで、将来、人間関係に不安を持っている子供や、悩みを抱えている子供たちも支えられるような仕事につきたいと思い、カウンセラーの資格を取得しいろいろな子供たちの手助けがしたい。

D子さん：タイの人々から「笑顔」についても学ぶ事が出来た。「ほほえみの国」と呼ばれている様に人々の笑顔が大変素晴らしく、貧しくても夢を追いかけながら生活している姿を見て、自分も努力しようと思った。

先生：実際に自分の目で見て、耳で聞いて、肌で感じる経験をする事で、自分の人生を考える機縁になる、とても大事なことで、生徒たちがこのツアーで一回り成長してくれた事に感謝している。

生徒たちはしっかりとした考えで、経験したことを将来へ生かそうとしていることが素晴らしいし、この事業が大変意義のあることで良かったと思います。以上の様に各クラブの活動は様々です。

では、我クラブの活動になりますが、台北南隆ロータリークラブとの友好クラブ締結から交流が始まり、現在では高校生の短期交流事業を行うまでになっています。これもひとえに、当時の会長・幹事であられた川上さんと神谷隆さんのご尽力のおかげだと思っています。言葉の通じないクラブとのやり取りや事の進め方等、不安要素がいっぱいで、お互いの気持ちに通じているか半信半疑での交渉はとても大変なことです。それ以降、国際奉仕委員長・副委員長を中心に事業を継続してきました。おかげをもちまして、現在まで日本への迎え入れ、台湾への訪問をそれぞれ2回ずつ行う事が出来ました。今までの流れで行きますと、今年度中に3回目の迎え入れ、次年度に3回目の台湾訪問となります。ここで、私自身が入会してから台湾との交流事業にどの位かわかってきたか思い出してみます。

平成 23 年 7 月 7 日 入会（川上会長）

平成 23 年 7 月 12 日～

友好クラブ締結に向けての旅（川上会長）不参加
平成 24 年 3 月 8 日

関中央R C創立 35 周年記念式典（川上会長）出席
平成 24 年 6 月 15 日～

南隆R C創立 17 周年記念式典（川上会長）出席
3 月の当クラブの式典に台湾から出席を頂いたことにより、南隆の周年記念式典出席し、親睦旅行を兼ねて計画された。（夫人も数名参加）とにかく歓迎がすごくビックリで、台湾の料理と紹興酒が以前より好きになり、初めての台湾との交流でしたが楽しい思い出になりました。

平成 25 年 6 月 16 日～

友好クラブ締結調印式（佐藤会長）不参加

平成 26 年 6 月 11 日～

台湾景文高校迎え入れ 1 回目（高井会長）歓迎会出席。生徒 8 名、ホストファミリー受入が困難で 1 家族 2 人受入も有った。

平成 26 年 12 月 20 日～

関商工高台湾訪問 1 回目（伊佐地会長）参加
生徒 8 名、先生 2 名が参加。景文高校では校門から生徒達の人垣の中を進んで会場へ向かう歓迎に、非常に驚いた。又、歓迎セレモニーでも部活の演技が有り楽しいものでした。関商工の生徒は、短期間の準備と思われる英語で学校紹介を行い、景文高校の生徒は上手な日本語で学校紹介をしてくれ、よく学習され、準備していたという印象を受けました。

平成 27 年 6 月 24 日～

南隆R C創立 20 周年記念式典（伊佐地会長）出席

平成 28 年 5 月 17 日～

台湾景文高校迎え入れ 2 回目（喜久生会長）出席
生徒 9 名、ホストファミリーの受入増えて、1 家族 1 人の受け入れとなった。この時は副会長として交流に参加。交流を通じ関商工の生徒は、英語が少しでもできるとどの国の人でも話が出来ることを改めて感じた。又コミュニケーションの取り方が学べたとか、台湾に興味がわき訪問したい等感想を伝えてくれました。

平成 28 年 12 月 21 日～

関商工高台湾訪問 2 回目（石原会長）参加生徒 11 名、先生 2 名が参加。今回は会長として緊張し参加。訪問当日の歓迎パーティー、翌日景文高校での歓迎セレモニーで、台湾流の「おもてなし」を受け、とても感激した。セレモニーでは、関商工の生徒がかなり努力したなと思える様な英語で、学校紹介を行い良かった。私は会長挨拶で、国際交流にあたり「言葉の壁」と「文化の壁」に直面するが、この二つの壁を乗り越えたとき、今まで以上にはっきりとした意思の発信が出来る様になると思う。この交流で「新しい何か」を発見して自身の財産にしてほしいと話しました。訪問後、関商工の生徒からは日本との違いを沢山発見でき、この訪問は宝物のような思い出になったとか、台湾の仲良くなった友達と再会を約束した等感想が有り、この事業を継続させたいと思った。

平成 29 年 2 月 17 日～

関中央 RC 創立 40 周年記念式典（石原会長）出席南隆 RC より 10 名出席、前日歓迎会、翌日高山観光及び食事会。

平成 29 年 5 月 18 日～

南隆 RC 創立 22 周年記念式典（石原会長）出席前日の歓迎パーティーで再び台湾の心のこもった「おもてなし」を受け感激。記念式典は大人気で盛大に開催され、緊張の中で挨拶をした。

以上の様に、この 6 年間で台湾南隆クラブに 5 回訪問し、交流迎え入れを 2 回、我クラブの創立記念で来日 2 回と合計 9 回、南隆クラブと交流が有りました。一人ひとりの顔を覚え、名前を覚え、わずかな中国語・少しの英語、身振り手振りと残りは日本語でコミュニケーションを取り、後は「乾ペイ」、最後は「謝辞」でお付き合いをさせて頂きました。特に昨年は、3 度も交流が出来、又会長という役柄、出番も多く大変良い経験をさせて頂き、思い出に残る 1 年で良かったです。この台湾との交流事業について思うことは、クラブとしても活気が出るし、青少年の育成の面でも意味があり、又外部への PR にもなる良い事業だと思いますので、継続したい事業です。ただ一面、予算がかかる問題も大きな課題です。

昨年は、周年記念事業の特別会計等にてまかなった様に、一般会計の中では予算が組めない実情です。ですので、出来るだけ支出を抑えた方法を模索し、予算は特別予算を組むか、毎年のニコボックスの収入の一部を特別予算化してまかなうというやり方でも良いと思いますが、これについては皆さんでの検討が必要です。台湾の南隆 RC も事業予算については、検討をされているそうで、事業を継続するため、お互いにあまり会の負担にならない交流が出来る様、検討していかなければいけないと思います。

最後にロータリーで台湾への訪問で、特に記憶に残っていることをお話して終わりにします。一つ目、平成 24 年 6 月の親睦旅行の時に、観光してホテルに帰るバスでの移動中、トイレが無い所で、止まってもらい「用を足した」恥ずかしい思いをした。二つ目は、同じ訪問時の夜の食事会で、当時の役員さんが台湾の会員に勧められ紹興酒 180mm 位を複数回一気飲みされたのを見て驚いた。三つ目は、平成 28 年 12 月の関商工が 2 回目の訪問の帰りの飛行機が飛ばないとわれ、宿のことなど大変困って心配したが、反面高校生は喜んでいて。四つ目は、平成 29 年 5 月南隆 22 周年記念式典へ出席前の昼間、街を皆さんと昼食に向かう際、コンクリートを打ったばかりの所に、足首まで入れてしまい、靴・靴下・白いズボンがコンクリートでドロドロで半泣き状態。皆は大笑い！最後五つ目は、高校生の交流時の皆の顔（目）が生き生きとしているところが大変印象に残っています。

*出席委員会

会員数 31 名、本日の出席 20 名です。

*ニコボックス委員会

・会長・副会長・幹事

会員卓話 石原妙生会員の国際奉仕について 当クラブの関わり方の発表よろしくをお願いします。

・西田健一君

先日平成 29 年度 NHK 全国短歌大会でうちの孫娘（中学 1 年生）がジュニアの部の特選をいただきました。うれしいことです。誰に似たのでしょうか？

・小澤重忠君

石原会員卓話ご苦労さまです。

・山田文夫君

石原君、今日の卓話宜しくお願ひします。

・石原妙生君

本日は皆さん寝て下さい。

・前田仁夫君

関中央RC ウォーキング同好会が8年前に発足しましたが、都合により閉会することになりました。代金が少し残っておりますのでニコBOXへ投函致します。

20名のご投函ありがとうございました。

***幹事報告**

・株式会社クマヒラ様より「抜萃のつづり」を拝受。

・ロータリー米山記念奨学会より、確定申告用領収書が参りましたのでレターボックスに配布しました。

・例会終了後、理事・役員会を開催します。

<次例会の案内>

第1930回 2018年2月15日(木)

会員卓話 吉田 和也会員

テーマ 「リトアニアボランティアの報告」

担当：インターアクト委員会